

今後の検討事項(案)

療養病床アンケート調査では、転換の意向を未定とする医療機関が少ないことから、本委員会においてこれまでに示された介護施設等の現状や住まいの状況等を踏まえつつ、今後転換をより円滑に進めるための対応や転換後の施設・サービスの在り方を示していくことが考えられる。

(療養病床の転換に当たって地域で求められる介護施設等の在り方について)

- 既存の建物を活用した療養病床の転換を進めるためには、どのような点に留意すべきか。
- 将来の見通しや地域の様々なニーズに応じることができるよう、転換後の施設・サービスの形態の多様化を図るには、どのような点に留意すべきか。
- 入院・入所だけではなく、多様な住まいにおける療養生活の継続・選択を支援するためには、どのような点に留意すべきか。

特に、転換後も引き続き適切なサービスの提供を図るために、今回の調査で明らかとなった療養病床の入院患者の状態像も踏まえつつ、その在り方を示していくことが考えられる。

(介護サービスの提供について)

- 療養病床から転換した施設・サービスの利用者像についてどのように考えるか。また、転換後の利用者像の変化についてどのように考えるか。
- 特に療養病床から転換した施設におけるこうした者に対する医療サービスの内容についてどのように考えるか。
 - ・特に夜間における看護が必要となる医療処置はどのようなものが考えられるか。
 - ・リハビリテーションの提供についてどのように考えるか。
 - ・看取りについてどのように考えるか。
- 上記のようなサービスを提供するための人員体制についてどのように考えるか。